

GIGAスクール構想第2期における取り組みについて  
(学習者用コンピュータの整備・更新)

## 1 本市におけるICT教育の現状

### (1) タブレット端末の配備状況(GIGAスクール構想整備分)

《小学校》iPad 1974台 《中学校》windowsPC 1043台

### (2) ICT機器の活用状況(教員アンケート、学校訪問から)

- ・タブレット端末については、各校とも1日平均2～3コマの授業で活用されている。(タブレット端末の活用に併せて大型提示装置の活用も進んでいる。)
- ・教材提示や資料提示だけでなく、考えを共有したり、比較・検討したりする活動にも活用されている。

### (3) 課題について

- 家庭と連携した情報モラル教育の推進
- タブレット端末の持ち帰りに向けた条件整備
- 修理・故障への対応
- 通信環境に伴うトラブル・不具合への対応

#### 【トラブル・不具合の具体例】

- ・動画再生が安定しない
- ・画面が固まって動かない
- など

⇨ ネットワーク環境の整備（「当面の推奨帯域」を満たしていない）

### ○ 学習者用コンピュータの整備・更新端末の計画的更新

⇨ 「公立学校情報機器整備事業費補助金」を活用しての計画的更新

## 2 公立学校情報機器整備事業費補助金を活用しての更新

- ・令和6年度から5年程度をかけて学習者用コンピュータを計画的に更新する。  
(予備機を含めて)

### (1) 補助基準額・補助率

- ① 補助基準額：1台当たり55,000円
- ② 補助率：2／3 (1／3は市町村負担)

### (2) 補助要件

- ① 都道府県が設置する共同調達会議に参加すること。
- ② 共同調達により学習者用コンピュータを整備又は更新すること。
- ③ 補助の対象となる端末は、「最低スペック基準」を満たすこと。
- ④ 教員数分の指導者用端末を整備すること。
- ⑤ 児童生徒が利用する端末を対象としたWebフィルタリング機能を備えること。
- ⑥ 端末の日常的な利活用に係る計画等を策定し、公表すること。

(計画等：端末整備・更新計画、ネットワーク整備計画、校務DX計画、

1人1台端末の利活用に係る計画 の4つ)

### (3) 最低スペック基準（主なもの）

- ① タッチパネル、タッチペン、ハードウェアキーボードを備える
- ② 以下の端末管理機能（MDM）を有する
  - ア ソフトウェア等の配信設定
  - イ 接続先ネットワークの制御
  - ウ 紛失・盗難時の制御設定
- ③ 教科横断的に活用できる学習ツール（ソフトウェア\*）を有する  
※「ワープロソフト」「表計算ソフト」「プレゼンテーションソフト」「インターネットブラウザ」等

【福島県推奨】 • ChromeOS [Chromebook]

【相馬市の現状】 • iOS [iPad] (小学校)

• WindowsOS [lenovo] (中学校)

### 3 学習者用コンピュータの更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
児童生徒数(人)	2,628	2,562	2,442	2,357	-
整備する端末数					
学習者用端末(台)	0	1,534	509	314	2,357
予備機台数(台)*1	0	230	76	47	353
合計(台)	0	1,764	585	361	2,710
整備に係る費用の算出(円)*2	-	106,722,000	35,392,500	21,840,500	163,955,000
補助基準額	55,000円／1台				
補助率	2/3 (1/3は市町村負担)				
補助要件となる指導者用端末の必要台数(台)	216台				
指導者用端末の費用の算出(円)*3	13,068,000				

\*1 予備機の台数は、整備する端末の15%以内

\*2 1台あたりの単価を55,000円（税込額）として算出、

\*3 1台あたりの単価を学習者用端末と同額（税込額）とした場合

### 4 共同調達のスケジュール

- ① 機種、台数及び納入期限の確定 [12月]
- ② 共通仕様書の決定 [12月]
- ③ 入札公告 [1月]
- ④ 入札 [3月]
- ⑤ 契約 [4月]

\*①～④はふくしまGIGAスクール構想推進協議会において実施し、⑤は市が落札者との間で随意契約を行う。

\*令和7年度の途中から使用可能となる。